

## 閑上地区まちづくり協議会 臨時総会

### 及び 災害公営住宅の検討部会の中間報告 & 意見交換会 議事詳細

日時	平成 26 年 12 月 20 日 (土) 10:00~11:30
場所	名取市文化会館 3階小ホール
出席者	会員出席者：36 世帯、委任状 114 世帯 世話役 8 名：(代表)針生勉、(副代表)阿部ひで、(副代表)今野義正、宇佐美久夫、今野慎介、鈴木政義、木皿裕司、(事務局)南部比呂志 (事務局)コンサルタント 5 名
報道機関	日刊建設工業新聞社、日刊建設新聞社、読売新聞、朝日新聞、KHB、NHK
資料	○臨時総会 資料-0 次第 資料-1 閑上地区まちづくり提案書<第二次提案> ○災害公営住宅の検討部会 & 意見交換会 資料 災害公営住宅 (戸建) 中間報告資料

#### ○ 概要

- ・発送時期 (12 月 2 日総会資料発送時) の会員登録 315 世帯のうち、第 2 回臨時総会の出席 34 世帯、委任状 114 世帯であった。(その後出席が 2 世帯増加)
- ・議案「閑上地区まちづくり提案書 第二次提案」は賛成多数により、可決された。
- ・平成 27 年 1 月 15 日に予定されている第 4 回災害公営住宅の部会について、臨時総会参加者にご案内するとともに、坂口先生から部会の検討結果として中間報告についてご説明頂いた。

#### ○ 議事詳細

### 閑上地区まちづくり協議会 臨時総会 (10:00~11:00)

1. 開会
2. あいさつ

代表世話役：みなさんおはようございます。本日はお忙しい中、閑上地区まちづくり協議会臨時総会にご参加頂き、誠にありがとうございます。今年 5 月 11 日に発足した閑上地区まちづくり協議会は、9/22 に第一次提案を提出して以来、8 回の協議を重ね、第二次提案をまとめてきた。今回のテーマは 2 つあり、1 つ目は商業エリア、子育て関連施設など主要施設の配置、2 つ目は閑上小中学校の開校 1 年遅れについてである。また、災害公営住宅の専門部会を立ち上げ、仙台高等専門学校の坂口先生、祝先生、多くの学生の支援を頂きながら、22 名の住民を交えて住民目線での提案をまとめてきたのでその中間報告を行う。これまで 3 回の部会を実施してきた。閑上に戻る約 7 割が災害公営住宅に入居するため、ぜひ住みやすい我が家にしてもらえればと思う。

まず、9/22 の第 1 次提案のおさらいを行う。(資料説明) これをベースとして、第二次提案を行うので、皆さんの真摯なご提案をお願いしたい。

### 3. 議長選出

司会：協議事項に入る前に議長を選出する。規約9条4項に則り、世話役代表が議長を指名する。

代表世話役：今野義正さんを指名したい。よろしくお願ひします。

議長：本日の出席者数の確認をお願ひする。

世話役：平成26年12月2日現在、協議会の登録世帯数は315世帯であり、本日の臨時総会の出席者は34名、委任状を114名から頂いている。

### 4. 協議事項 <議案 関上地区まちづくり提案書第二次提案について>

議長：では資料説明をお願ひする。

世話役：(資料説明)

議長：提案の中身は2つあるので、分けて質疑をお願ひしたい。発言者は挙手の上、まず住所とお名前をお願ひしたい。まず主要施設の配置について、質問のある方は挙手をお願ひする。質問がないようなので、提案その2の開校の遅れについてお願ひする。世話役会としては、なぜ遅れたかは説明できないので、どちらかといえば意見がメインになると思う。市にも伝えていくので、子育て世代の方には特にお願ひしたい。

参加者：第二次提案で子育て関連施設が学校周辺に集中している。しかし、塩釜亘理線のところに、集合住宅が建つが、子育て施設がなくなってしまう。一つくらいあっても良いのでは。

世話役：子育て関連施設を小中一貫校の周りに持ってきたのは、子育て世代の方の意見を聞いてきたという経緯がある。今回の震災を踏まえ、別々に子供を迎えに行くよりも集約されている方がよいし、また安全な場所なので子育てエリアを学校に近づけた。まちなかで交流の場が少なくなるので、地域の連携の中で、交流の機会を増やすよう、まちづくり側からも提案していく、PTAの関わりの中で花いっぱい運動のような活動も再開しながら交流を深めていきたいと考えている。

議長：関連する質問はあるか。どちらかがよいか。

代表世話役：実際に小中校に通わせているお母さんの集まりがあり、まち協としてヒアリングをしてきた。子育てのお母さんの意見としては、避難のためにあっちこちに走り回ることがないよう、集めてほしいというものであった。まち協として検討した結果、大きな避難所でもある学校の周りに子育て関連施設を集める方が良いという考え方である。

議長：その2の開校の遅れについて、質問はあるか。

参加者：2丁目に住んでいた。6,3年生は今の制度だが、一貫校で4,3,2となると中総体などはどうなるのか。

代表世話役：今のご質問に明快な回答を持ち合わせていない。教育委員会が決めることだろうと思う。新しいカリキュラムになっても、6年生の卒業式はあると聞いている。教育委員会に確認し、ニュースレターなどで回答する。

参加者：商業エリアについて、お年寄りも歩いて買い物ができるというのは良いが、そうなる地区の真ん中にあっても良いのでは。今回の提案では、交通量が多いところなので買い物の危険度が増すと思う。地区の中にあつた方が良いのでは。また東西どちらにもお年寄りがいるので危険度も考えた方が良いのではないか。

代表世話役：まち協世話役会として「産業再生を考える会」とお話ししている。そのなかの意見として、県道10号線沿いに商店を構えたいということだった。事業者にとっては交通量があつてお客さんが多く入ってもらう方が良いということだ。外からのお客さんも含めて賑わいを確保する。ただし、安全面をないがしろにするわけではなく、安全性は十分確保でき

るよう考えていきたい。また、中央緑道は3カ所では車が横断するが、それ以外では車は横断しない。そこを歩いて商業施設にくると、安全に歩いてこれると考えている。中央緑道は立体交差になるので県道10号線の下をくぐるイメージだ。

議長：市の現行計画では関上港北線のところにも店舗兼住宅も考えている。そこにも店舗は出てくると思う。

参加者：絵としては一番大きなところに商店が集まるイメージがする。

代表世話役：生協をイメージ頂くと、バス通りから生協の周りに商店が集まってくるようなイメージだ。換地された自宅でお店を構える方もいらっしゃる。このエリアでないと営業できないということでない。

参加者：近くのアパートに住んでいる。いずれ住宅を求めたいが、下増田の災害公営住宅が一番近い。また高柳もありだと思ふ。今は店も病院も何もないから不安もある。

議長：今のご質問は後の災害公営住宅の議論で触れさせて頂く。

議長：採決に入る。第二次提案に対して賛成の方は挙手をお願いします。(挙手多数)

過半数の賛成を頂いたので、第二次提案は可決された。以上で本日の審議は終了なので議長を降壇する。

## 5. その他

司会：今後の活動スケジュールについて針生代表から説明をお願いします。

代表世話役：この提案は12/22夕方に名取市長、教育長に手渡す。円滑に進むように市と連携を密にしていきたい。今後の進め方として、資料P1の右側をご覧頂きたい。提案スケジュールとして、来年1～3月に他地区の災害公営住宅の事例を見て、後発の利を生かしながら、検討を進めていきたい。道路、公園、町並みについても検討を進める。特に公園については、中央公園、街区公園、ポケットパークなど場所も多いので、ワークショップ形式で進めていきたいと考えている。検討の場をどんどん提供したいので、参加をお願いします。毎週火曜日に世話役会も開催しているので、提案をして頂いても構わない。皆さんと一緒にまちづくりを考えていきたいのでお力添えをお願いしたい。

司会：これから決めないといけないことがたくさんある。自分で住む町のことなので参加型でお願いしたい。

## 6. 閉会

副代表世話役：以上をもって、まちづくり協議会臨時総会を閉会する。今後ともご意見、ご提案、参加を頂きながら進めていきたいのでご協力をお願いしたい。

以上

## **災害公営住宅の検討部会の中間報告&意見交換会(11:00～11:30)**

司会：引き続き、災害公営住宅検討部会の中間報告を行う。これからの進行は、部会長宇佐美氏と仙台高専坂口先生にお願いします。

部会長：(災害公営住宅検討部会の中間報告)

坂口先生：研究室では5月くらいからまち協のお手伝いをしている。来年3月に向け、災害公営住宅の戸建住宅、集合住宅に分け、部会で話し合いをしながら構想をとりまとめようとしている。本日はこれまでの検討の経緯や話し合ってきた内容についてご報告したい。(資料

説明)

部会長：ご質問・ご意見等があればお願いしたい。

参加者：災害公営住宅にお世話になりたい。今住んでいるところは、2階の方が夜中うるさいので眠れないので悩んでいる。一人で住んでいるが、仙台の娘家族と住むことも考えている。間取りが広い方が良いと思っているが、4LDKもあるのか。住宅ができるまで2年くらい掛かるのか。

部会長：うるさい方について、市役所に相談したのか。

参加者：弁護士に相談したら、大家にお話しするよということだった。万が一のことがあつたらと思っているが、大家は2階の方は仕事をしておらず生活保護とのことだった。毎晩12時前後からうるさくなる。

参加者：災害公営住宅の屋根の構造はどうなっているのか？最近、雪も多いので、材質などが気になる。

部会長：部会では決めることはできないが、潮風などでさびが出ないように素材を希望するなどの話はしている。

参加者：車椅子対応のトイレになっているのか？

坂口先生：標準仕様では車椅子対応のトイレの大きさにはなっていない。ハードルは高いと考えられる。

参加者：トイレやお風呂などはやはり大きいサイズにしてもらいたい。

部会長：部会でぜひ検討していきたい。部会への参加が難しいなどの状況であれば、違う方法で意見を伺いたい。

参加者：平日の夜は参加しにくい。

部会長：それぞれの事情はあると思うが、今は木曜日の夜に開催している。

参加者：参加し難い人は、意見を手紙などで出せばよい。

部会長：来年の1月15日に多目的ホールで第4回の災害公営住宅の部会を開催するのでぜひ参加して欲しい。

参加者：被災前の自分の家の附近は空き地だったが、その後、4階建ての会社の寮が建ち、日陰になったりして、環境が悪くなった経緯がある。

部会長：閑上地区は新たにまちをつくっていくので、そのようなことがないように配慮したまちづくりをすすめるために意見をまとめて、進めていきたい。

司会：災害公営住宅の入居者は地区に戻る人の中で多くを占めており、高齢者も多くなっている。多くの人が住まう災害公営住宅は重要な検討項目となり、後出しじゃんけんの閑上地区は、いままでの経験を生かしてより良いものを目指すことができるので、できるだけ多くの意見を出していただき、行政に働きかけていきたいので、協力をお願いしたい。ぜひ、部会への参加もお願いしたい。

以上をもって、第2回臨時総会、災害公営住宅の検討部会の中間報告を終了する。

以上